

市外分の処理について

1 福岡県内の処理

(1) 県内の処理

福岡県内のトランス類・コンデンサ類等の受入に当たっては、多量保管事業場（トランス類・コンデンサ類を 30 台以上保有している保管事業場）と少量保管事業場（多量保管事業場以外の保管事業場）とに分け、多量保管事業場については、計画的な処理をするためのベースロード及び搬入の調整枠として、受入を開始することといたします。

少量保管事業場については、ルート回収により経済的、効率的に収集運搬が行われるよう、県内を福岡、筑後、筑豊、京築の 4 ブロックに分割し、ブロックごとに重点受入月間を設け集中的に受入を行います。

(2) 輸送方法

福岡県内からの運搬については、北九州市に近接しているため、すべて当社の入門を許されたトラックで運搬されます。なお、搬入にあたっては、北九州市での経験を十分に活かし、安全性を確保しつつ、当社が定める受入条件が遵守されるよう適切な指導を行ってまいります。

(3) 北九州市への進入経路

北九州市への進入経路に関しては、福岡県、福岡市及び大牟田市が以下の内容で収集運搬業者に指導されているところです。

ア 北九州市内については、北九州市ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画の定めるところによること。

イ 北九州市外については、アを踏まえ、次に掲げるところによること。

- a 高速道路、国道等の幹線道路を運行することを基本とする。
- b 幹線道路の選択に当たっては、より規格の高い道路を優先する。
- c 積込地が幹線道路に面していない場合は、合理的な経路を経て、速やかに幹線道路に入る。

(4) 北九州市への搬入時間

北九州市への搬入時間に関しても、北九州市ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画の定める収集運搬時間(原則として午前 7 時から午後 6 時までとする。ただし、11 月から 2 月までは、午前 8 時から午後 5 時までとする。)を遵守するように福岡県、福岡市及び大牟田市が収集運搬業者に指導されているところです。

なお、当社も収集運搬に関しては、事前に運行計画を提出していただいております、その確認により北九州市の計画が遵守されるよう努めてまいります。

2 福岡県を除く 16 県の処理

(1) 16 県の処理

福岡県を除く 16 県の区域内の P C B 廃棄物の処理については、北九州事業に係る 17 県の行政と当社で組織された北九州 P C B 廃棄物処理事業に係る広域協議会（以下「広域調整協議会」という。）において、北九州市内に次いで福岡県内の処理を行い、その後 16 県の処理を行うことを基本として、北九州事業処理対象区域全体の処理について、北九州市内及び福岡県内の残分を優先させ、平成 20 年度以降順次処理を進めることが確認されています。

(2) 処理の基本的な考え方

多量保管事業場については、計画的処理をするためのベースロード及び搬入の調整枠として、保管されている県の区域にかかわらず、平成 20 年度から搬入が開始されます。

少量保管事業場については、ルート回収により経済的、効率的に収集運搬が行われるよう、16 県を 3 つのブロックに分け、九州・沖縄、中国及び四国の順に平成 21 年度から、半年ごとの重点搬入期間を決め搬入を行います。

(3) 検討課題

現在、北九州事業が岡山県以西から沖縄までの広範囲な事業対象区域を擁していることから、安全を最優先にかつ効率的な広域収集運搬体制の構築が重要な課題です。そこで、広域調整協議会においては、広域の収集運搬での輸送方法や経路、緊急時における連絡体制の検討等、広域処理における安全を確保するための協議、調整が進められているところです。